

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

三重県

地域名

名張市立赤目中学校区

人権課題

同和問題、障害者、外国人、子供、性的指向・性自認、北朝鮮当局による拉致問題等

各組織の動き・役割等

運営委員会（各校校長、教頭、市教育委員会担当者、
県教育委員会指導主事）＊決定機関推進委員会（各校校長、教頭、人権教育担当者、研修担当者、市教育委員会担当者、
県教育委員会指導主事）＊実施計画等の検討 ＊各部会への指示担当者会（各校人権教育担当者）
＊助言…各校管理職、市教育委員会担当者、県教育委員会指導主事名張市人権・同和教育推進協議会
名張市学校人権・同和教育推進委員会三重県教育委員会
人権教育課
名張市教育委員会
学校教育室
名張市人権・男女共同
参画推進室赤目中学校PTA
錦生赤目小学校PTA
箕曲小学校PTA
百合が丘小学校PTA一ノ井児童館・教育集
会所

各校学校運営協議会

赤目中学校区小中一貫教育						
人権3部会			④学力部会	⑤体力部会	⑥生徒指導 教育相談部会	⑦事務 職員部会
①人権教育部会	②なかまづくり部会	③地域連携部会				
合同学年部会・各グループ会						

【人権教育総合推進会議】
赤目中学校区人権教育
推進協議会校種間連
携の概要

- ・管理職、人権教育担当者を中心に、運営委員会、推進委員会、担当者会を実施し、中学校区で連携した人権教育を推進した。
- ・中学校区の教職員が小中一貫教育の7部会のいずれかに所属し、多様な観点から人権教育について協議した。
- ・中学校区合同研修会や研究発表会を開催したり、4校の教職員が入った合同学年部会や各グループ会で人権教育について話し合う機会を設けたりしながら、小中学校の発達段階や学校の実情に合わせた取組を話し合った。

地域・関係機関
との連携の概要

- ・子どもたちが一ノ井児童館・教育集会所の職員等から人権について学んだことを、地域の文化祭等で紹介した。
- ・各校の人権授業参観や人権集会において、保護者や地域住民（学校運営協議会委員等）が、子どもと共に人権問題について考えたり、子どもによる人権学習の発表に対して感想や意見を返したりしていただく機会を設けた。

事業成果

- ・知識的側面：81.4%→85.5%（+4.1） ・価値的・態度的側面：76.7%→80.3%（+3.6）
- ・技能的側面：78.4%→84.0%（+5.6）
- ・人権教育カリキュラムに基づく取組を教育的に不利な環境のもとにある子どもの姿をもとに検証し、9年間の系統性・連続性や4校のつながりを意識しながら、中学校区の子どもの実態に合った人権教育カリキュラムにブラッシュアップした。
- ・各学校や中学校区全体で研修を重ね、被差別当事者や有識者の講演を聞いたり、教職員自身が経験や思いを語り合ったり、レポートや指導案を書いたり、教材研究や授業実践を行ったりする中で、教職員の人権感覚を高めることができた。